

検査率2割台

厚生労働省は3月31日、自治体が行っている変異株PCR検査（スクリーニング）による陽性者数が、先週より408例増えて累計で1200例となつたと発表しました。

変異株PCR検査で陽性となつたものは、さらに国立感染症研究所など

変異株陽性者1200例に

のゲノム解析にかけられますが、そこで確定した国内事例は6078例（先週比129増）となり、検疫で見つかった123例を合わせると合計801例となりました。また、新たに福井県、三重県、奈良県、和歌山県、高知県、福岡県、大分県でも確認され、変異株が見つかった地域は33都道府県に広がっています。

3月15日～21日までの検査結果（速報値）は、全国の地方衛生研究所で行ってる民間検査機関分は3326件でした。同期間の新型コロナウイルス新規感染者数8914件に対する検査率は、行政検査が22・99%、民間検査機関分を合わせても26・65%と、いまだに3割未満の状況です。

3月15日～21日までの検査結果（速報値）は、全国の地方衛生研究所で行ってる民間検査機関分は3326件でした。同期間の新型コロナウイルス新規感染者数8914件に対する検査率は、行政検査が22・99%、民間検査機関分を合わせても26・65%と、いまだに3割未満の状況です。

都道府県別の検査率は、

は、変異株の確認例のあ

った首都圏のうち、東京

都は4・12%、神奈川県

は5・76%で、検査率の

低さが全国でも際立って

います。変異株陽性者数

が128例と最も多い兵

庫県の検査率は41・99%

。続く大阪は陽性者50

例で、検査率は21・71%

でした。